



プレオルソ
こども歯ならび矯正法



子供の矯正治療について

歯列矯正治療は、年齢によってI期治療とII期治療に分かれます。I期治療(全ての歯が永久歯に萌え変わる前の治療)をすることで、将来の歯ならびに多くの良い影響を及ぼすと言われています。

5歳～10歳ごろ

I期治療:予防矯正(混合歯列期)

- 歯のならびの改善
- 咬み合わせの改善
- 口呼吸から鼻呼吸へ
- お口ポカンの改善
- 正しい発音・飲み込み

プレオルソ
装置



I期治療で終了される患者さんもいれば、II期治療まで希望される患者さんもいらっしゃいます。

II期治療を希望される場合にも、I期治療をしておく大きな **メリット** があります。

・治療期間が短くなる ・歯を抜かなくてすむ場合 など



8歳後半～

II期治療:本格矯正(永久歯列期)



全ての歯に装置をつけた治療



プレオルソだけを使った治療例

※治療効果には個人差があります

治療前

7歳 女の子



12ヶ月後



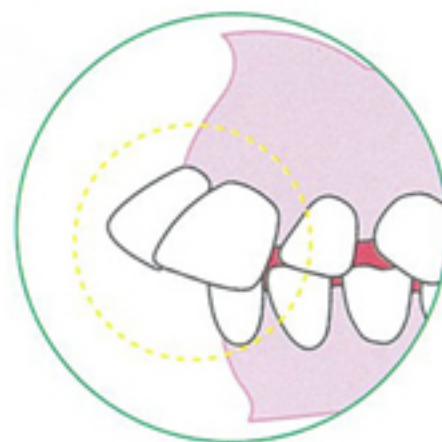
写真提供：大塚矯正歯科クリニック

不正咬合の種類

気になる方はスタッフまでご相談ください。

上顎前突

横から見た時に
上の歯が出ている

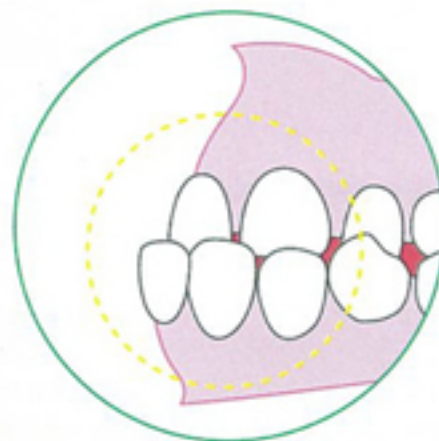
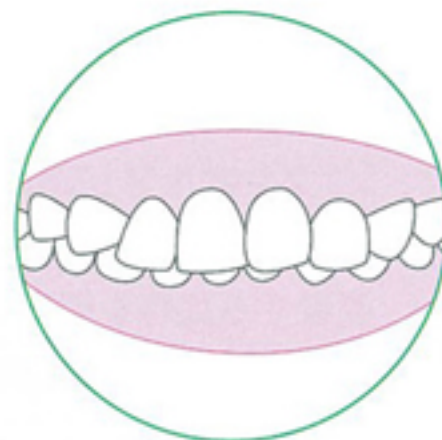


開咬

奥歯は噛むけど前歯が
閉じない

過蓋咬合

上の歯が下の歯に覆い
かぶさっている

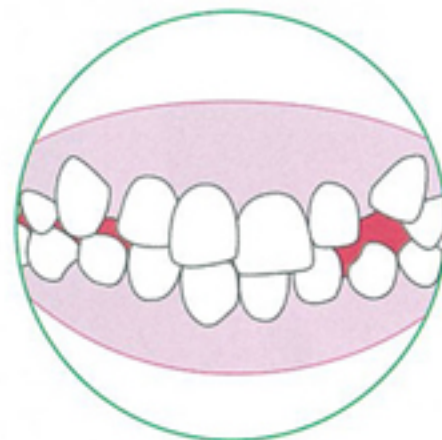


反対咬合

横から見た時に
下の歯が出ている

叢生

デコボコ



お口ポカンになっていませんか

— こども歯ならび矯正法 —



お口ポカン=口呼吸が続くと・・・

- ・歯ならびが悪くなる
- ・アレルギー疾患
- ・風邪をひきやすくなる
- ・口臭
- ・いびきをかきやすくなる
- ・鼻が詰まる
- ・むし歯になりやすくなる

などなど成長によくないことばかり

「プレオルトソ」こども歯ならび矯正法は、
歯ならびだけでなく口周りの筋肉の機能を
改善する訓練を同時に行うことが可能です。
「お口ポカン」の改善にも効果があります。

開発者：大塚淳先生



私は、現役の矯正専門医として30年近く臨床を経験してきました。10年程前から、患者さんに負担が少なく、安定した結果を得る事が出来る治療方法の開発に着手して以来、試行錯誤を繰り返し、現在の「プレオルトソ」こども歯ならび矯正法に至りました。

略歴：東京歯科大学卒業

東京歯科大学大学院卒業医学博士・歯科博士

東京歯科大学非常勤講師

日本矯正歯科学会認定医

大塚矯正歯科クリニック（岡山市）院長

プレオルソってご存知ですか？

お口ポカン

口呼吸

歯ならび

いびき



永久歯に生え変わる前に使うと効果の高い
現役の歯科医師(矯正専門)が開発した
矯正器具「マウスピース式矯正装置」

「家にいるとき」と「寝ているとき」に装着するだけ！

柔らかく取り外し可能なので、
安心・安全に治療に取り組んでいただけます。

こんなお子さんが使用されています

- ・出っ歯
- ・受け口
- ・デコボコ
- ・噛み合わせが悪い

など



Forest-one

www.forest-one.co.jp